

# 持続可能なサプライチェーンの構築

ニチレイグループが社会に価値を提供し自らが存続し続けるためには、持続可能な資源の調達極めて重要であると認識しています。また、グローバルな事業活動を行ううえでは、サプライチェーン上のステークホルダーとともに環境や人権尊重に取り組むことが重要だと認識しています。今後もサプライチェーン上の社会課題解決に向けた取り組みを通じ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## 持続可能なサプライチェーン基本方針

<https://www.nichirei.co.jp/csr/supplychain>

ニチレイグループでは、持続可能なサプライチェーンの構築に取り組むため基本方針に則り、ビジネスパートナーへの方針の理解と実践を働きかけています。

法令遵守	事業を営む国・地域の法令・社会規範を遵守する。
公正な取引	公平、透明かつ公正な取引を行う。
人権	基本的人権を尊重し、安全で衛生的な労働環境の確保に努める。
環境	地球環境に配慮し、環境負荷の低減に努める。
品質・安全	商品・サービスの品質や安全性の確保に努める。
情報管理	情報を適切に管理するとともに、事業活動に関わる情報の適時・適切な開示に努める。
地域社会	企業市民として地域社会との共生を目指す。

## 人権方針

<https://www.nichirei.co.jp/corpo/humanrightspolicy.html>

ニチレイグループは、事業を行う過程で直接または間接的に人権に影響を及ぼす可能性があることを認識し、私たちのビジネスに関わるすべての人々の人権を尊重する責任を果たすために、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づく「ニチレイグループ人権方針」を制定し、これを指針として人権尊重に取り組んでいます。

1. 適用範囲	本方針は、ニチレイグループのすべての従業員と役員に適用します。また、ニチレイグループのビジネスパートナーに対しても、本方針を支持し、人権の尊重に努めていただくよう求めます。	3. 人権課題の特定・対処・開示	ニチレイグループは、人権デューデリジェンスの仕組みを構築し、自らが社会に与える人権への負の影響を特定し、その防止および軽減を図ります。
2. 基本的な考え方	ニチレイグループは、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づく人権尊重の取り組みを推進するとともに、次の国際的な規範を支持し、尊重します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>国連「国際人権章典」(世界人権宣言と国際人権規約)</li> <li>国際労働機関「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」</li> <li>国連総会決議「先住民の権利に関する国際連合宣言」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ニチレイグループの事業活動が人権への負の影響を引き起こした場合、あるいは取引関係などを通じた負の影響への関与が明らかになった場合には、国際基準に基づいた手続きを通じて救済に取り組みます。</li> <li>ニチレイグループは本方針の一連の取り組みにおいて、独立した外部の人権に関する専門知識を活用するとともに、自らの事業により影響を受けるステークホルダーとの対話と協議を真摯に行います。</li> <li>本方針の実行に責任を持つ担当役員を明確にし、実施状況を監督します。</li> <li>本方針がグループ全体の事業活動を通して効果的に実行されるよう、適切な研修・教育を行います。</li> <li>本方針に基づく人権尊重の取り組みの進捗ならびに結果を継続的に開示します。</li> <li>事業活動を行う国・地域における法および規制を遵守します。もし各国の法令が国際的に認められた人権と矛盾する場合には、国際的な人権原則を最大限に尊重するための方法を追求します。</li> </ul>

## CSR調達の推進に向けて～Sedex加入とSMETA監査の実施～



<https://www.nichirei.co.jp/csr/responsibility.html>

ニチレイグループでは、2019年度よりサプライチェーンのビジネスパートナーへ、ニチレイグループ「持続可能なサプライチェーン基本方針」やCSR調達に向けた理解促進の働きかけを実施しています。2020年度「グループサプライチェーン会議」を発足し、人権デューデリジェンスに取り組むための共有課題について議論しました。2021年度は「グループサプライチェーン委員会」を発足しました。

また、ニチレイフーズでは2019年7月に「Sedex<sup>\*1</sup>」に加入。2020年10月に「ニチレイフーズサプライヤー CSRガイドライン」を策定し、5カ国語で開示。2021年度は国内の自営食品工場において「SMETA監査<sup>\*2</sup>」の実施を始めました。

\*1 Sedex (Supplier Ethical Data Exchange) : 2004年に英国で設立された、サプライチェーンにおける責任あるビジネス慣行の実現を目指し、企業の倫理情報を管理・共有するためのプラットフォームを提供する非営利団体。

\*2 SMETA (Sedex Members Ethical Trade Audit) 監査 : 企業、監査会社から構成されるSedexステークホルダーフォーラムが倫理的監査に関するベストプラクティスを集約して開発した監査手法。

## 持続可能な原料調達に向けた取り組み

### ■ASC認証・MSC認証の水産物への取り組み

ニチレイフレッシュでは、2006年からインドネシアのカリマンタン島で持続可能なブラックタイガーえびの粗放養殖とマングローブの植樹による自然環境保護活動「生命の森プロジェクト<sup>いのち</sup>※1」に取り組んでいます。その活動をインドネシアのスマトラ島のバナメイえびの養殖池へも広め、2018年にASC認証<sup>2</sup>を取得。2020年からは、約28万本のマングローブ植樹を実施しています。また、MSC認証<sup>3</sup>の水産物の取り扱いも順次増やしており、2020年6月時点では17魚種の水産物を取り扱っています。今後も、MSC認証の水産加工品の取り扱いも増やしていきます。

※1 生命の森プロジェクト：<https://www.nichireifresh.co.jp/inochinomori/>

※2 ASC認証：ASC (Aquaculture Stewardship Council：水産養殖管理協議会)による持続可能な養殖水産物の認証

※3 MSC認証：MSC (Marine Stewardship Council：海洋管理協議会)による持続可能な天然水産物の認証

### ニチレイフレッシュのMSC/ASC認証取得水産物

ASC 【認証番号】 ASC-C-01632	ブラックタイガー、バナエイエビ、カキ、アトランティックサーモン、ギンザケ、トラウトサーモン
MSC 【認証番号】 MSC-C-52165	キングサーモン、シロザケ、ギンザケ、カラフトマス、ベニザケ、マダラ、ノーザンアサバガレイ、コガネガレイ、シロガレイ、スケソウダラ、アブラガレイ、ホタテガイ、カラフトシヤモ、ズワイガニ、ニシン、ホッキガイ、トラバガニ、アメリカケンサキイカ、マガキ



MSC認証アラスカ産ベニザケの魚卵を加工した水産加工品（塩筋子）

### ■「純和鶏」を通じた地域循環型農畜産サイクル

ニチレイフレッシュでは、2009年より12年間、岩手県のJA・軽米町や洋野町の農家の皆さんと協働で、飼料米プロジェクトを立ち上げ、「純和鶏」の生産を通じた地域循環型農畜産サイクルを実施しています。スタート時は約15ヘクタールだった飼料米水田も、2020年度では約240ヘクタールにまで広がり、約1,600トン収穫できました。

養鶏の排泄物（鶏糞）を農場内にある高速鶏糞処理プラントで有機質肥料化し、その肥料を鶏肉専用の元休耕田だった飼料用米水田に撒いて土壌の栄養分として活用。収穫された飼料米は「純和鶏」を配合飼料として給餌しています。また、高速鶏糞処理プラントでの廃熱エネルギーは、鶏舎を温める熱源として利活用しています。



高速鶏糞処理プラント



有機質肥料化された鶏糞



### ■パーム油 (RSPO認証油クレジット) の導入

アブラヤシの果実から採れるパーム油は、食用油、石鹸や洗剤などさまざまな製品の原料に使われています。近年アブラヤシ農園の大規模開発が進み、熱帯雨林の伐採や泥炭地帯のCO<sub>2</sub>排出などの環境問題、農園で働く人々の強制労働・児童労働などが世界的な問題となっています。

当社グループは、2018年8月に持続可能なパーム油の生産と利用を促進する非営利組織、RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil: 持続可能なパーム油のための円卓会議) に加盟しました。製品に使用するパーム油を持続可能なパーム油にする取り組みを進め、ニチレイフーズの食品工場 (国内外の連結対象子会社) において揚げ油に使用するパーム油の全量 (100%) を集計し、該当量のRSPO認証油クレジット (ブック&クレーム方式) を購入しています。



4-1055-18-100-00

会員プロフィールページ (英文)  
<https://rspo.org/members/7750>